

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院



地域に信頼される外科を目指して

公立丹南病院 外科部長 外科 消化器外科 石田 誠



私が公立丹南病院に赴任して3年あまりがたちました。外科のスタッフも現時点で5人の常勤医師がおり、ケガや事故の際の創傷処置はもちろんですが、全身管理を必要とする外傷などにも24時間対応しています。手術の対象となる病気はいろいろありますが、経験豊富で各専門分野に強い医師がそろっていますので安心して

相談していただければと思っています。患者さんにとって手術を受けるということは大変なことですので、病状や手術方法、代替治療やセカンドオピニオンの説明まで、丁寧な対応を心がけています。

超高齢化社会を迎えた今、当院でも80歳を超える手術患者さんが多くなっています。当院には信頼できる麻酔科の医師がおり、予定手術、緊急手術の区別なく我々を支えてくれています。最近では「血液サラサラ」の薬を飲んでいらっしゃる患者さんや、余病が多く通常の全身麻酔がかけられない患者さんも多いのですが、それでもいろんな技術を駆使して麻酔をかけてくれるので、入院期間が短く、術後の合併症も非常に少なくなりました。

最近腹腔鏡手術という言葉をよく聞かれることと思います。外科の世界も日進月歩しており、近年最も進歩した分野が腹腔鏡手術といえます。胆石はもちろんのこと、早期胃がんや大腸がんの多くは、もはや腹腔鏡手術が標準治療となりつつあります。たしかに傷も小さく、ほとんどの患者さんが翌日から歩行できますので身体的、精神的苦痛も少なく、入院期間や美

容上のメリットも多いと思います。複雑な手術機器が多数必要となるため人員も手間も余計にかかることになりましたが、当院では手術室のスタッフのモチベーションが高く、通常の手術だけではなく、夜間の虫垂炎や、消化管穿孔などの緊急手術でも腹腔鏡手術が可能です。先日、難度の高い手術を腹腔鏡で行った結果患者さんが死亡したとのニュースが世間を賑わしました。もちろん腹腔鏡手術が不可能、あるいは逆に危険となる病気も多いですが、安全性と確実性においてバランスのとれた手術方法の選択を心がけています。

当院でのがんの手術は多岐にわたります。胃がん、大腸がんをはじめ肝臓がん、膵臓がんなども数多く手術しています。いわゆる早期がん以外の進行がんも多く、術後の治療や長期の経過観察が必要となる患者さんも多いですが、地域に密着した病院ならではのきめ細やかな対応が可能です。体調不良などの際の短期入院も気軽に引き受けしています。化学療法室や緩和ケアチーム、リハビリテーション部門も充実しているため、患者さんと患者さんを支えるご家族の方々に満足いただける医療を提供できると思います。

このように多職種連携によるチーム医療が当科の特徴ですが、これからも地域の皆さんに信頼される外科を目指してがんばりたいと思っています。



感染管理室の活動紹介と みんなで実践する感染対策

感染管理認定看護師 ● 宮田こず恵

感染管理室の活動紹介

「感染管理室」と聞いてみなさんは、何を
している所だろうと思われる方が多いと思
います。

当院の感染管理室では、患者さんやご家
族、病院のスタッフを、いろんな感染症か
ら守る事を目的に、院内の感染に係る委
員会やチーム会と連携して活動を行って
います。

主な活動は、病院内での感染対策の実
施状況のラウンドや研修会の企画・開催
、院内外からの感染に関する相談対応等
を行っています。

みんなで実践する感染対策

今の季節は、インフルエンザやノロウイルス
等による感染性胃腸炎等が流行する季節
になります。これらの病気に罹らないた
めには、「**手洗い**」と「**咳エチケット**」が
とても大事になります。「**手洗い**」は、
帰宅後や食事の前、トイレの後にはし
っかりされていると思いますが、咳やく
しゃみの時はどうでしょうか？ 口元を
手で覆い咳やくしゃみをする、手には
たくさんの菌やウイルスが付いてしま
います。そのままの手でいろんな場所
を触ってしまったらどうなるでしょう
か？ 菌やウイルスを広げてしまうこと
になります。手洗いはこまめに行いま
しょう。手指消毒アルコールを用いて
手を消毒する事も良いです。当院では
手指消毒アルコールを、病室入口、正
面玄関入口や各科外来窓口、売店等
にも設置していますのでご使用くだ
さい。

みなさんは、咳やくしゃみが出る時にはマ
スクを付けていますか？

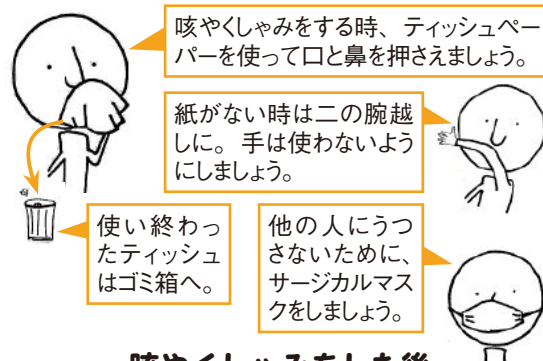
咳やくしゃみが出る時にはマスクを付
ける、ティッシュで口元を覆って咳やく
しゃみをする事を、「**咳エチケット**」と
言います。咳やくしゃみ等の症状があ
る時の受診や外出の際には、エチケッ
トとして必ずマスクを付けましょう。
当院では、正面玄関フロアや救急外
来玄関にマスクの自動販売機を設置し
ています。

最後に、みんなのために自分のために
できる感染対策、「**手洗い**」「**咳エチ
ケット**」を、今日からみんなで行って
いきましょう。

あなた自身や他の人の病気の 原因となる病原菌を広げないために

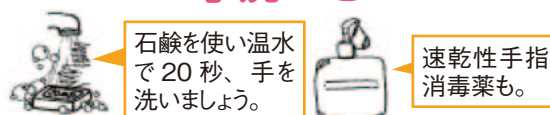
咳をする時

口と鼻を押さえましょう！

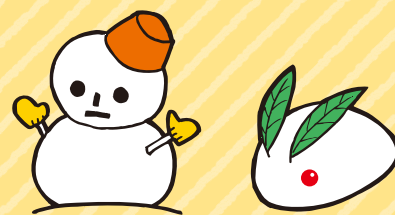


咳やくしゃみをした後

手洗いを



福井県脳卒中連携協議会の 開催報告



リハビリテーション室 ● 高木大輔 木下めぐみ

平成28年9月1日に鯖江市嚮陽会館にて福井県脳卒中連携協議会が開催されました。

脳卒中連携協議会とは、脳卒中の方が急性期の病院から、在宅に復帰するまで途切れない医療を提供していくために作られた会議です。4カ月に1回行われており、今回は丹南病院が当番院ということで、脳神経外科の竹内医師が中心となり協議会開催の準備を進めてきました。当日は脳神経外科医師をはじめ、外科病棟看護師、地域連携室、リハビリ室など多部署のスタッフが総動員で会場設営、参加者の案内を行いました。

協議会には福井県内の各施設より200名程度の方が参加され、転院時の情報提供を目的とした脳卒中連携パスの運用状況報告、パス内容の見直しなど濃い話し合いが行われました。また、話題提供として高木、木下の2人で、「丹南病院におけるがんリハビリの現状報告」と「がんリハビリ経験の報告」を行いました。報告後、当院のがんリハビリにおける課題を与えていただき、とても有意義な時間となりました。



公立 丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立 丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620
ホームページ: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
メールアドレス: tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151
メールアドレス: tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

訪問看護ステーション

通所リハビリテーションセンター
なごみの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-nagomi@jadecom.or.jp

通所介護
よつばの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5411 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-yotuba@jadecom.or.jp

